

# リヤカー専門店リヤカーの森が自主防災会で導入拡大中―災害時の荷物運搬には大型軽量アルミリヤカー

近年、全国の自主防災会・町内会を中心に、リヤカー専門店リヤカーの森が提供する折りたたみ式アルミリヤカーの導入が拡大しています。

当店の集計によると、災害対策用途としての問い合わせおよび受注件数は年々増加傾向にあり、防災備品としてリヤカーを新たに導入、または入れ替える動きが各地域で進んでいます。

中でも注目すべき点として、2026年以降に受注した自主防災会向け注文の約40%が、大型モデル「R255k」を選択していることが明らかになりました。

この結果は、災害時に求められる運搬手段の要件が変化しつつあることを示しています。

なぜリヤカー専門店リヤカーの森のリヤカーが人気なのか

当店のリヤカーが支持されている理由は、単なる価格や一時的な需要ではありません。自主防災会が重視しているのは、「災害時に本当に使えるかどうか」という一点です。

災害時は、

- ・車両が使えない
  - ・人手が限られる
  - ・重くかさばる物資を一度に運ぶ必要がある
- といった厳しい条件が重なります。

こうした現場の課題に対し、軽量で耐久性があり、かつ収納性にも優れた折りたたみ式アルミリヤカーは、実用性の高い備品として評価されています。

災害時に活用されるリヤカーはどんなものが多いのか

防災用途で選ばれるリヤカーには、明確な傾向があります。

- ・人力で安定して運べる二輪構造
- ・錆びにくく、長期保管に向くアルミ素材
- ・段差や不整地に強い大型タイヤ
- ・給水タンクや発電機を載せられる積載力

近年は特に、「大型化」と「軽量化」を両立したモデルへのニーズが高まっています。

これは、防災備蓄品そのものが年々大型・重量化していることとも密接に関係しています。

大型モデルへのシフトが進む背景

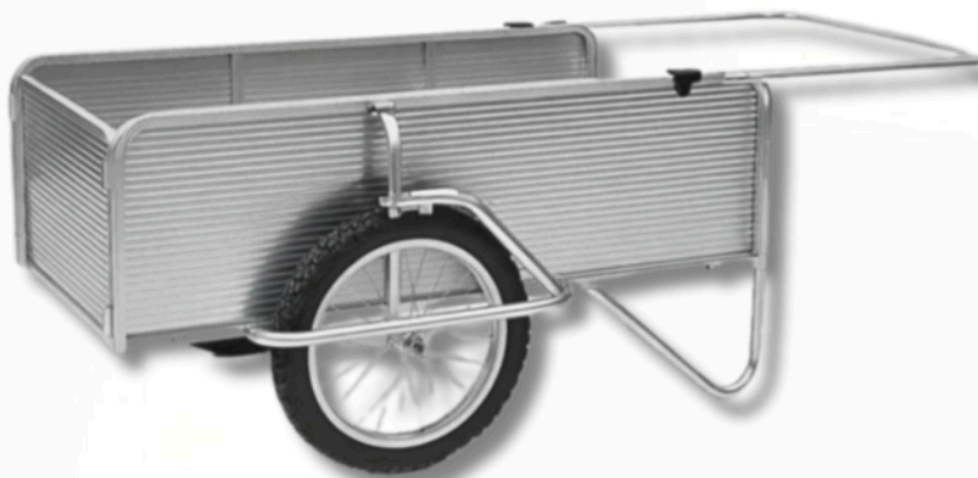
これまで自主防災会では、「軽くて扱いやすい小～中型リヤカー」が主流でした。しかし現在は、以下のような理由から考え方が変わりつつあります。

- ・一度に運ぶ量を増やし、往復回数を減らしたい
- ・発電機や給水タンクなど、重量物が増えている
- ・複数人で使う前提なら、多少大型でも問題ない

この流れの中で、「必要なときだけ使える大型リヤカー」として評価されているのがR255kです。

R255kはどんなリヤカーか | 自主防災会で選ばれる理由

# R255kが、本気を出すのはこんな時



- ・ **会議用長机**を効率よく運びたい
- ・ **イベント用テント**や**資材**を  
まとめて移動させたい
- ・ **大きな楽器**をスムーズに搬入したい

R255kは、積載性能と収納性の両立を目的に設計された、超大型折りたたみアルミリヤカーです。

会議用長机サイズにも対応できる荷台を持ちながら、本体はアルミフレーム構造により軽量化を実現しています。

そのため、災害時に複数人で扱うことを前提とした自主防災会の運用に適しています。

特に評価されているポイントは以下の点です。

- ・大型ながら折りたたみ可能で、倉庫に収納できる
- ・200kgクラスの荷物を想定した耐荷重設計

- ・ノーパンクタイヤによるメンテナンス不要構造
- ・長期備蓄を前提とした3年保証

<https://rear-car.jp/aluminum-rear-car-255k/>

#### 自主防災会の40%がR255kを選ぶ背景

2026年以降、当社が受注した自主防災会向け注文のうち、約40%がR255kを選択しています。この数字は、単なる大型志向ではなく、防災備品の選定基準が変化していることを示しています。

「小さくて扱いやすい」から、  
「大きくても、必要な時に確実に使える」へ。

折りたたみ構造があることで、  
大型＝保管が難しい、という従来の課題が解消され、R255kのようなモデルが現実的な選択肢となりました。

#### 今後の展望 | 地域防災の実運用を支える備品として

リヤカー専門店リヤカーの森では、今回明らかになったR255kの導入比率の増加を、一時的な需要ではなく、防災備品選定における構造的な変化と捉えています。

今後は、  
・災害時に「確実に使えること」  
・保管場所や管理体制まで含めた「運用しやすさ」  
・地域内で複数人が共有して使える「汎用性」  
といった観点が、より一層重視されていくと見込まれます。

その中で、大型でありながら折りたたみ可能なR255kのようなモデルは、  
自主防災会における“標準的な運搬備品”としての位置づけを確立していくと考えています。

当社では今後も、自治体・自主防災会・消防団などの現場から寄せられる声をもとに、  
・防災用途を前提とした仕様の改良  
・大量導入や長期備蓄を想定した供給体制の強化  
・導入検討時に活用できる情報提供の充実  
に取り組んでいきます。

単なる製品提供にとどまらず、  
地域防災の実運用を支えるパートナーとしての役割を果たすことが、リヤカー専門店リヤカーの森の今後の使命です。

リヤカー専門店リヤカーの森の公式サイト:

<https://rear-car.jp/>